

# 電飾10万個 彩り楽しみ

宇和島・中山池公園

中高生ら園全体飾り付け

間町黒井地の中山池公園で実施するイルミネーションイベントに向け、関係者ら約140人が7日、園内の木々に色鮮やかな発光ダイオード(LED)約10万個を飾り付けた。

吉田三間商工会が今月下旬から宇和島市三

間町黒井地の中山池公園で実施するイルミネーションイベントに向け、関係者ら約140人が7日、園内の木々に色鮮やかな発光ダイオード(LED)約10万個を飾り付けた。吉田三間商工会の主催で21回目。2018年の西日本豪雨に伴い園内に設置していた仮設浄水場が今春撤去されたため、発災後初めて公園全体を使つての

イベントとなる。

作業には商工会メンバーのほか、三間中学校、北宇和高校三間分校の生徒らが参加。脚立に上って電飾のコードを幹や枝先に手際よく配置した。

青や赤の明かりがともると、園内は一足早い冬の光景に。同商工会青年部三間支部長の大高基さん(40)は「支援のおかげで、これまで以上のボリュームになった。ぜひ家族や友人と見に来てもらいたい」と話していた。

点灯は11月28日～2022年1月3日の午後6～11時。

イベント費用の一部は、21年7～9月に実施した「えひめ南予きずな博」のクラウドファンディングで賄った。商工会によると、目標を上回る金額が集まり、三間と吉田地域で実施するイルミネーションに活用する。中山池公園には新たに電飾を使ったオブジェ1体を設置する予定。



中山池公園の木にLEDの電飾を手際よく取り付ける参加者

(長尾翼)